

IBU NEWS

Communication Forum – Information-One on One –

2010 NO.24

尽きない思い出を語り合おう
11月3日(祝)
 「同窓会総会」「ホームカミングデー」開催

IBU 四天王寺大学大学院
 四天王寺大学
 四天王寺大学短期大学部

IBU祭

テーマ:「新」

11月1日・2日・3日
 [入場無料] 開催時間: 10:00~19:00

来る、11月1~3日の3日間、四天王寺大学は、普段見ることのできない空間に変わります。

本年度は、第51回「IBU祭」ということで、例年とは違った数々の企画をご用意しています。卒業生や地域のみならず、いつもとは少し違った、四天王寺大学の雰囲気味わいにお越しください。大学祭運営委員会一同、まだ見ぬ皆様を楽ししい一時を過ごしていただけるよう、日々努力しています。心より皆様のご参加お待ちしております。

(大学祭運営委員会委員長)

大学祭運営委員会
 副委員長 米良 朋恵さん



大学祭運営委員会
 委員長 松田 元気さん

大学祭運営委員会
 副委員長 吉田 祐樹さん

【平成23年度 IBU入学試験日程】

大学 [共学]

人文社会学部 言語文化学科(日本語日本文化専攻/中国語アジア文化専攻)、英語文化学科、社会学科、人間福祉学科(社会福祉専攻/保育専攻)
教育学部 教育学科(小学校・幼児教育コース/中学校英語・小学校コース/保健教育コース)
経営学部 経営学科(マネジメントコース/会計ファイナンスコース/ビジネス法コース)

入試の種類	出願期間	試験日	合格発表日
A〇入試	自己推薦型 郵送: 9月6日(月)~9月17日(金) 持参: 9月18日(土)	9月25日(土)	9月29日(水)
	特 技 入 試 資 格 型 郵送: 9月27日(月)~10月1日(金) 持参: 10月2日(土)	10月9日(土)	10月14日(木)
推薦入試	前 期 日 程 郵送: 10月18日(月)~10月29日(金) 持参: 10月30日(土)	11月7日(日) 試験日自由選択 11月8日(月)	11月16日(火)
	後 期 日 程 郵送: 11月30日(火)~12月17日(金) 持参: 12月18日(土)	12月21日(火)	12月25日(土)
一般入試	前 期 日 程 郵送: 1月5日(水)~1月19日(水) 持参: 1月20日(木)	1月27日(木) 試験日自由選択 1月28日(金)	2月5日(土)
	中 期 日 程 郵送: 1月24日(月)~2月10日(木) 持参: 2月12日(土)	2月18日(金)	2月26日(土)
	後 期 日 程 郵送: 2月14日(月)~3月4日(金) 持参: 3月5日(土)・7日(月)	3月11日(金)	3月15日(火)
	センター試験 利用入試 期 郵送: 1月5日(水)~2月14日(月) 持参: 2月15日(火)	2月19日(土)	2月26日(土)
センター試験 利用入試 期 郵送: 2月14日(月)~3月11日(金) 持参: 3月12日(土)・14日(月)	3月18日(金)	3月20日(日)	

短期大学部 [共学]

保育科
 生活ナビゲーション学科(ライフデザイン専攻/生活福祉専攻)

入試の種類	出願期間	試験日	合格発表日
A〇入試	自己推薦型 期 郵送: 9月6日(月)~9月17日(金) 持参: 9月18日(土)	9月25日(土)	9月29日(水)
	自己推薦型 期 郵送: 10月18日(月)~11月1日(月) 持参: 11月2日(火)	11月6日(土)	11月10日(水)
	自己推薦型 期 郵送: 2月14日(月)~3月11日(金) 持参: 3月12日(土)・14日(月)	3月18日(金)	3月20日(日)
推薦入試	特 技 入 試 資 格 型 郵送: 9月27日(月)~10月1日(金) 持参: 10月2日(土)	10月9日(土)	10月14日(木)
	基 礎 郵送: 10月4日(月)~10月15日(金) 持参: 10月16日(土)	10月21日(木) 試験日自由選択 10月22日(金)	10月29日(金)
一般入試	一 般 郵送: 1月5日(水)~1月19日(水) 持参: 1月20日(木)	1月27日(木) 試験日自由選択 1月28日(金)	2月5日(土)
	センター試験 利用入試 期 郵送: 1月5日(水)~2月14日(月) 持参: 2月15日(火)	2月19日(土)	2月26日(土)

※詳細やその他一般入試などについては、入試・広報課までお問い合わせください。
 TEL: 072 956 3183 (直通)

参加者にIBUオリジナルグッズをプレゼント!!

オープンキャンパス 2010

参加申し込み不要 入退場自由
 無料送迎バス運行(11月3日を除く)

9月12日
 10:00~15:00

キャンパスツアー
 IBU生がキャンパスを案内!先輩が、広いキャンパス内を紹介!

10月3日
 11:00~15:00

学部・学科別イベント
 大学の授業って、どんなの?学部・学科の特徴や、授業について説明します。ミニ授業で実際に体験も。

11月3日
 11:00~15:00

個別相談コーナー
 奨学金は?寮は?就職は?何でも聞ける相談コーナー!聞きたいことは相談コーナーで、じっくり相談。

12月12日
 11:00~15:00

ランチ体験
 学食を味わってみよう!IBUの食堂でランチを無料サービス!受付でジュースももらえます。

学生・教員とフリートーク
 先輩や先生と、なんでも話をしてみよう!気になることを気軽に相談!先輩や先生たちと仲良くなれますよ。

IBU 四天王寺大学大学院
 四天王寺大学
 四天王寺大学短期大学部

編集・発行 / 四天王寺大学 入試・広報課
 〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1
 Tel.072-956-3181(代表)

URL <http://www.shitennoji.ac.jp/ibu/>



平成21年度 第1回 四天王寺大学同窓会 総会 ホームカミングデー 報告

平成21年11月3日(祝)、本学5号館303教室にて、卒業生106名が参加して、「四天王寺大学同窓会」として新たに発足した本学同窓会の「総会」が開催されました。また当日は、同級生・先輩・後輩や恩師の方々と旧交を温め、母校への想いを育んでいただく「ホームカミングデー」として、大学祭・生涯学習フェスタで賑わうキャンパスで、見学ツアーやさまざまなイベントを楽しむなど、思い出深いひとときを過ごしました。

総会議事の経過と結果

総会は、従来の同窓会組織である「四天王寺国際仏教大学同窓会(サチア会)総会」に引き継ぐ形で進行し、原田一臣副会長の司会のもと、議事に入りました。

最初に同窓会新役員の紹介が行われ、森田貴夫会長をはじめ合計15名の役員が紹介されました。

次に森田会長が挨拶に立ち、同窓会の実施にあたっての大学関係者への謝辞、卒業生の皆様への協力要請、同窓会運営目的に沿ったの決意表明などを含めた挨拶を行いました。

続いて、平成22年度事業計画・事業内容について、森田会長が説明し(左表参照)、慎重に審議の結果、全員異議なく了承されました。

学生に対する支援事業として、例えば、4月は新入生・3月は卒業生へ、それぞれ記念品を贈呈します。また、7月と3月の2回に分けて奨学金事業を行います。さらに、1月には教育・研究活動等支援事業として、備品等を寄贈するほか課外活動の支援も行います。

なお、7月には同窓会役員会を開催し、こうした事業をよりよいものにするため、また、11月開催の同窓会総会、ホームカミングデーの一大事業を盛り上げるべく努めます。

キャンパスツアーで感嘆の声 交流と情報交換の輪も広がる

総会終了後、希望者を対象に数グループに分かれてキャンパスツアーが行われました。新しい施設・設備などが増えた母校の教育環境の充実ぶりに終始、感嘆の声が上がりました。また、懐かしいシーンと再会する卒業アルバム展は、交流と情報交換の場としての話の輪が広がっていました。

もちろん、大学祭・生涯学習フェスタの多彩なイベントも自由に楽しみ、青春時代の思い出にふけったり、慌ただしい日常を忘れて開放的気分を味わったり、それぞれの参加者は有意義な時間を過ごされていたようです。



キャンパスツアー



卒業アルバム展

平成22年度の主な事業計画・事業内容



- 4月
 - ・新入生に記念品贈呈【記念品贈呈事業】
 - 7月
 - ・同窓会役員会開催【同窓会総会等開催事業】
 - ・在学生への支援【奨学金事業(奨学金)】
 - 9月
 - ・同窓会会報(IBU-NEWS)の発行・発送【同窓会会報発行事業】
 - 10月
 - ・平成23年度新入生による同窓会費納入開始
 - 11月
 - ・同窓会総会の開催【同窓会総会等開催事業】
 - ・懇親会開催、ホームカミングデーの開催【同窓会総会等開催事業】
 - 1月
 - ・教育・研究活動等支援【教育・研究活動等支援事業(学校備品等の寄贈)】
 - ・教育・研究活動等支援【教育・研究活動等支援事業(課外活動支援)】
 - 3月
 - ・卒業生に記念品贈呈【記念品贈呈事業】
 - ・在学生への支援【奨学金事業(報奨金)】
- その他母校の発展に寄与する年間通じての事業

会長ご挨拶



四天王寺大学同窓会
会長 森田貴夫

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本学の同窓会は校名変更や男女共学化を機に、昭和60年11月、四天王寺国際仏教大学同窓会「サチア会」として発足いたしました。しかしながら、年1回の総会時に会計報告をするのみで、実質的な活動は休止状態にありました。そこで、これまでの同窓会を見直し、卒業生相互の親睦や在学生と卒業生の交流を図り、さらなる母校の発展や社会貢献に寄与することを目的に、平成21年11月3日、同窓会総会にて「四天王寺大学同窓会」が承認されました。総会では、会則の改定や事業計画・予算等の審議のほか、同窓会役員として私を含め15名の役員が選出され、新たな第一歩を踏み出すこととなりました。

役員一同、手探り状態ではありますが、今一度「同窓生の絆」を強化し、同窓会組織の充実と活動の活性化を目標に取組み、母校の発展に貢献できるようお手伝いさせていただきます。よろしくお願いいたします。

なお、平成22年4月、四天王寺大学同窓会のホームページを立ち上げました。同窓生の絆を強化するとともに在学生と同窓生のネットワークの基礎を固め、母校のタイムリーな情報を皆様に発信して参ります。大学を取巻く環境はますます厳しくなり、それに対応すべく四天王寺大学は常に進化しております。今更以上、同窓生お一人おひとりのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学位授与式で会長ご挨拶

平成22年3月15日に大学・大学院ならびに短期大学部の平成21年度学位授与式が行われ、大学院5名・大学610名・短期大学部192名、合計807名が卒業しました。

式典では、四天王寺大学同窓会の森田貴夫会長が祝辞を述べました。そして、毎年大学祭の時期に開催する同窓会総会・ホームカミングデーに、皆さんも元気な姿でお集まりいただきたいと呼びかけました。



入学式で記念品を授与

平成22年度の四天王寺大学・大学院ならびに短期大学部の入学式が、平成22年4月2日に行われました。今年は大学院3名・大学878名・短期大学部247名の合計1,128名が入学しました。

式典では四天王寺大学同窓会の原田一臣副会長が祝辞を述べました。また、同窓会記念品贈呈事業として、礼拝で使用する念珠と念珠袋を新入生に贈呈しました。



記念品の数珠

在学生へ奨学金を贈呈

平成22年7月10日、四天王寺大学同窓会が在学生支援の一環として行う奨学金事業の第1回目として、大学2名、短期大学部1名、計3名に奨学金が贈呈されました。



平成22年度 第2回 四天王寺大学同窓会 「総会」「ホームカミングデー」 開催のご案内

平成22年
11月3日(祝)

お帰りなさい!! 思い出深い母校へ。
お友達・ご家族とお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

卒業生相互の親睦をより広げ、在校生と卒業生の交流をさらに活発にし、母校の発展を願うとともに社会への貢献を目指し、平成21年11月3日の総会にて新発足した四天王寺大学同窓会は、前述のとおり初年度の活動を順調にスタートしました。

そして、活動をさらに充実させるために、さる7月10日には役員会を開催。今年度の同窓会総会・ホームカミングデーについては、昨年同様、IBU祭期間中の11月3日(祝)に開催します。大学祭・生涯学習フェスタのイベントのほか、新しい施設や先進設備が揃った未来志向のキャンパスの今を確かめてください。

当日は地域の方々も含め大勢の来学者を迎え、キャンパスに歓声があふれる日です。懐かしい顔に出会うよい機会ですので、皆さまも同期生に呼びかけて、またご家族と一緒に参加され、楽しいひとときをお過ごしください。すすよお願ひ申しあげます。そしてまた、同窓会活動の発展を期して、今後とも皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

なお、当日、懇親を深める場の提供や恩師への連絡が必要な場合は、お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
同窓会事務局(入試・広報課)
電話072-9563181(代)

- 【平成23年度 主な事業計画・事業内容(案)】
- 4月 ・新入生に記念品贈呈【記念品贈呈事業】
 - 7月 ・同窓会役員会開催【同窓会総会等開催事業】
 - ・在学生への支援【奨学金事業(奨学金)】
 - ・音楽棟完成 同窓会より備品贈呈【施設設備充実費】
 - 9月 ・同窓会会報(IBU-NEWS)の発行・発送【同窓会会報発行事業】
 - 10月 ・新入生による同窓会費納入
 - 11月 ・同窓会総会の開催【同窓会総会等開催事業】
 - ・懇親会開催、ホームカミングデーの開催【同窓会総会等開催事業】
 - 1月 ・教育・研究活動等支援【教育・研究活動等支援事業(学校備品等の寄贈)】
 - ・教育・研究活動等支援【教育・研究活動等支援事業(課外活動支援)】
 - 3月 ・卒業生に記念品贈呈【記念品贈呈事業】
 - ・在学生への支援【奨学金事業(報奨金)】
 - ・その他母校の発展に寄与する事業

同窓会	
総会	11:00~12:00(事務局棟6階) 同窓会会則・事業計画等を審議
入試相談会	推薦入試・一般入試のご相談
社会人向け学習講座の案内	「たいし塾」「サテライトキャンパス」等のご案内
卒業アルバム展	
IBU祭 テーマ「新」(しん)	
生涯学習フェスタ	



同窓会の
公式サイトが
開設されました



●四天王寺大学 同窓会公式サイト
http://www.shitennoji.ac.jp/ibu/grad_ass/index.html

- ・四天王寺学園女子短期大学
- ・四天王寺女子短期大学
- ・四天王寺女子大学
- ・四天王寺国際仏教大学
- ・四天王寺国際仏教大学短期大学部
- ・四天王寺大学
- ・四天王寺大学短期大学部

を卒業された皆さまに向け、同窓会事業の計画と報告を中心に情報発信し、全国各地の卒業生の皆さまと本学をこれまで以上に強い絆で結んでいきたいと考えています。なお、ご転居やご結婚、市町村合併などでご連絡先等に変更が生じた場合は、本サイトの「住所変更」ページのフォームから、手軽に変更届けの手続きをいただけます。皆さまと本学をつなぐ同窓会サイトへ、ぜひ一度アクセスしてみてください。

あの日の子たちへ

“心のふるさと”
としてのIBU



人文社会学部 社会学科
千葉モト子教授

卒業生の皆さん、お元気ですか？ 卒業生の中には、千葉先生、まだいてはなんのん？と驚く人がいると聞きました。IBUが女子大から男女共学へと変化する中で、かれこれ40年近くの勤務です。驚かれるのも無理はありません。おかげで女子大時代の卒業生とのお子さんの親子二代を教えたり、兄弟姉妹を教えたり、と教師冥利に尽きる経験をしています。

社会学科が設立されてから24年。時代と共にカリキュラムも多様化しました。現在、人間・社会領域をはじめ、国際マスコミ、社会システム・ビジネス、心理といった幅広い領域を学べる学科に成長発展しています。

いま、私たち現代人は、情報過剰のIT社会、欲望の尽きない消費社会に生きています。そんな中で、私たちが見失いがちな道徳心や宗教心を育んでくれる礼拝の時間が本学にあることは、大きな意味があり、一つの救いです。瞑想の時を持ちたり、写経したりする経験は、知らず知らずのうちに仏教の和の心、寛容の心を培います。本学の学生に穏やかで優しいところがあるのは、宗教心が育まれているからだろうと思います。

教師もまたしかり。礼拝の時間によって人と和し、人に感謝する心が自ずと醸成されるものです。私がこうして長年にわたって教えることができたのも、温かく見守ってくださった学長先生はじめ、諸先輩の先生方、学生たちのおかげだと、本当にありがた感謝しています。

また、卒業生と教師は、共にIBUを“心のふるさと”に、生涯温かく見守りあう関係なのだと思っています。最近つくづく感じています。そして、私としては定年まで「教師として、清く・正しく・美しく」シヤンと生きていかねば、と新たに自覚しているところです。

これから本学も時代と共に変貌していくでしょうが、日本文化の神髄の一端を継承する礼拝の時間を絶やさないこと、発展してほしいものです。それには卒業生の皆さんの力が必要です。これからも熱いサポートをぜひお願いいたします。

プラス志向を
忘れることなく



教育学部 教育学科
石原田 正廣教授

私が初めてIBUの教壇に立ったのは30数年前。女子大のときで、学生は毎日が制服姿でした。みな真面目で元気がよかったですね。その頃、暖房はガスストーブで、夏はクーラーがなかったのが本場に暑かったことを思い出します。

個人的な思い出としては、男女共学になって間もないころ、厳しく叱ったことで何となくしこりを残した男子学生がいました。しかし、その彼が卒業し、結婚するときに、私に仲人を頼みに来たのです。教師としての私の厳しさを、叱咤激励だときちんと受け止めてくれたのかと思うと、感慨もひとしおでした。

また、今なお、2、3年に一度、学年同窓会に呼んでもらいますし、年賀状やメールのやり取りが続いている卒業生もいます。本学を巣立ち、仕事をし、家庭を築き、子どもができて、と、社会人として立派に成長していく姿に接することができるのも、教師ならではの醍醐味だと大変うれしく思っています。

昔と今を比べると、昔は教養的な学修が多く、ゆったりとしていました。本学に限らず大学全般に、また、企業をはじめ世の中全体に、そういうゆとりがありました。しかし、今は免許資格の取得に追われ、せわしないのは否めません。学生気質については、昔はとにかくみな本気で真面目でした。今は状況や他者に対する順応性・融通性に富み、一人の学生がいろんな自分を自在に切り替えてできる多様性に、感心させられることがあります。

卒業生の皆さんには、身体を大切に健康であってほしいと願っています。と同時に、気持ちの健康も大事です。不況が続くなど大変厳しい時代ですが、それに流されることなくピンチをチャンスに変えるプラス志向を常に持ってほしいと思います。

そのために、折に触れて大学を訪れ、澆刺とした青春の思い出を確認するのもよいでしょう。この羽曳野キャンパスの自然環境の素晴らしさは今も変わりません。緑に守られて健康的で、精神的にもおらかな気持ちにさせてくれます。来る同窓会は、絶対のチャンスですので、ぜひお越しください。

中国浙江工商大学留学生
お別れパーティを実施

平成22年2月24日、本学に留学していた中国の浙江工商大学の学生14名のお別れパーティが開催されました。

昨年9月から日から約半年間にわたる留学生生活を終え、パーティでのスピーチでは、日本での体験がいかに有意義で楽しいものだったか、上達した日本語で熱く語ってくれました。



IBU大阪アンカークラブ
2年連続最優秀アンカー賞を受賞

平成22年4月16日(金)18日(日)に香川県で開催された「第20回日本ディストリクトコンベンション」において、IBU大阪アンカークラブが、昨年からの2年連続で最優秀アンカー賞を受賞しました。アンカークラブとは、アメリカに本部を置き、「友情と奉仕」を信条にした世界に広がる国際ボランティア団体です。日本には10団体あり、ボランティア活動と年1回の活動報告を行っています。最優秀アンカー賞は、それらの中から最も優秀であったと認められた団体に授与されるものです。



今年度のテーマは「響」。学生の熱い想いが教職員の方々の心に響き、またその熱い想いが大学へ響き、地域の方々の心に響き、一つになるように、との願いが込められていました。

当日は梅雨空も姿を消して晴れ上がり、文化会系クラブ団体による作品展示、発表が楽しく繰り広げられるとともに、さまざまな屋台が賑わい、来場者の笑顔がキャンパスを埋めました。

音楽棟が来年夏に完成!!



理想の音楽教育環境を整備した、新しいシンボルが誕生します。

幼児教育・初等教育に長い伝統を誇る本学では、ピアノをはじめとする音楽教育が充実しており、高い専門就職率を支えています。これまでも専用の音楽棟および6号館のML教室を備えていましたが、このたび、音楽棟(8号館)を新築することとなりました。この音楽棟は平成23年7~8月ごろに完成予定で、旧エクステンションセンター棟に音楽分野専用の学舎として新築されます。大学・短期大学部の音楽授業全般はもちろん、音楽系クラブ活動などにも使用できるよう、さまざまな工夫がされています。

地上3階建ての学舎には、多目的教室、リズム室、個人ピアノ練習室といった音楽関係の専用教室はもちろんのこと、学生ホール、パウダールームなどくつろぎのスペースも完備され、直接音楽分野を学ばない学科の学生にとっても、本学の新しいシンボルとしての活用が期待されます。

さらに、本学の保育科志望者で「ピアノ」の技術に自信がないという方の不安を解消するため、保育科では入学予定のピアノ未経験者・初心者を対象に、入学前に「初心者向けピアノ講座」を開講(受講料は無料)していますので、安心して受験していただくことができます。



パウダールーム



エントランスホール

米国ソルトレイク・コミュニティカレッジ研修生が来学

平成22年5月10日(月)より30日(日)まで、ソルトレイク・コミュニティカレッジ(アメリカ合衆国ユタ州)からの研修生11名と引率教員が来学しました。日本文化の調査研究、日本の大学生との交流が目的です。研修生と教員は本学と交際し、本学で講義を受け、学生と共に日本文化について研究調査を行いました。

講義では、日本語の授業をはじめ、書道、華道など日本文化体験授業も受講。日本文化の精神を伝えながら、英語解説入りのテキストを使用した実技指導も行われました。一方、英語の講義にも参加したことで、本学学生は日本にいなからアメリカの学生とディスカッションができるという、たいへん貴重な体験ができました。

また、四天王寺をはじめ京都など関西の代表的都市での歴史的建築物や文化財の見学、広島への一泊二日ミニ旅行などを通して、日本を幅広く体験しました。研修のしめくくりの調査研究発表会では、研修生と本学



海外で職業体験できる「海外インターンシップ」を開始

企業でのインターンシップ(学生などが一定期間、目標とする業種で就業体験を行うこと)が普及し、本学でも、多数の企業のご協力のもと、インターンシップを行う学生が増加しています。さらに従来のインターンシップをさらに発展させ、本学では平成22年度から、海外(アメリカをはじめとする英語圏)でホームステイしながら、現地の日系企業での就業体験などができる、海外インターンシップを開始しました。

企業だけではなく、キンダーガーテン(幼稚園)・小学校での補助教員や、日

系福祉施設で就業体験を行うコースなどもあります。ほとんど日本語だけでこなせる職場から、ビジネス英語の実践ができる職場まで、学生に合わせた実習先を紹介。海外インターンシップで得た「自信」が、学生を大きく育てていくものと期待し、この活動のさらなる充実に努めていきます。

ソフトボール部男子 全国大会出場決定!!

全日本大学選手権大会近畿予選が5月9日よりおこなわれ、近畿の並みいる強豪校と熱戦を繰りひろげた結果、「第45回全日本大学選手権大会(全日本インカ



学生が力を合わせた個性的なプレゼンテーションが行われました。双方が毎日ランチタイムでも交流していたので、送別会では惜別の涙を浮かべるシーンも見られました。インターネットなどで簡単に諸外国の情報が手に入る昨今ですが、やはり直接の交流・体験のほうを得られるものは大きいと、強く実感した有意義な研修となりました。

松岡千明さんが「小野奨学会」平成22年度学業優秀者に決定

平成22年5月25日、本学教育学部教育学科 中学校英語・小学校コースの松岡千明さんが、小野奨学金の平成22年度の学業成績優秀者として表彰されました。小野奨学金は小野薬品工業が大学教育の普及と俊才の育成を目的として、「公益財団法人小野奨学会」を設立し、実施している給付奨学金です。毎年、その奨学生400名程の中から、学業成績優秀者およびその他の課外活動等で特筆すべき活動成果のあった者が、奨学生優秀者として表彰されています。

このたびの松岡さんの表彰を祝うとともに、ますますの活躍を期待します。



文化会系クラブの成果発表の場「水無月祭」開催

平成22年6月20日(日)、学生運営委員会主催による水無月祭が開催されました。

レシへの出場権を獲得しました。選手権大会は9月9日(木)12日(日)に富山県富山市で開催されます。部員たちは前回(第43回大会)のベスト16を上回る成績を目指し、練習に励んでいます。皆様の盛大な応援をお願いいたします。また、4月11日(日)よりおこなわれた第42回春季関西学生ソフトボールリーグ戦において、2部ブロック優勝を果たし入れ替え戦に勝利した結果、4年ぶりの1部リーグ昇格となりました。秋季リーグ戦より1部リーグでの戦いにご期待ください。